

〒662-0088 兵庫県西宮市苦楽園 4 番町 7-1
 TEL.0798-70-0656(ナレオルゴール) FAX.0798-72-0110
 http://www.orgel-horie.or.jp/ E-mail info@orgel-horie.or.jp

イタリアオペラとオルゴールⅣ ～ベッリーニ「ノルマ」～

シリンダーオルゴールには、オペラの曲が多く録音されています。以下の表Ⅰは、当館のシリンダーオルゴール 162 台にプログラムされている、曲数が多いオペラのランキング表です。1 位はヴィンチェンツォ・ベッリーニのオペラ「ノルマ」となっています。

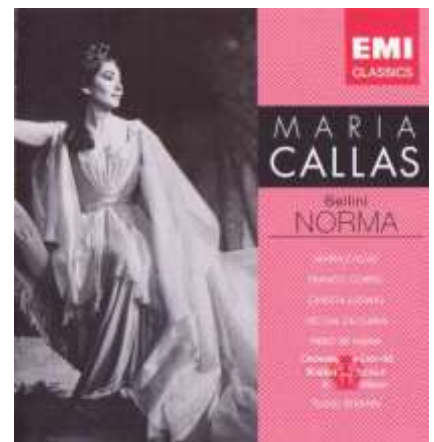
(表Ⅰ)

順位	オペラ	初演	作曲者	出身国	曲数
1	ノルマ	1831 年	ヴィンチェンツォ・ベッリーニ	イタリア	28
2	イル・トロヴァトーレ	1853 年	ジュゼッペ・ヴェルディ	イタリア	22
3	ギョーム・テル	1829 年	ジョアキーノ・ロッシーニ	イタリア	17

(4 月 20 日現在)

イタリアオペラ黄金期の幕開けを飾ったロッシーニや、その後を引き継いだドニゼッティなど、イタリアオペラ黄金期の前半を支えた作曲家たちのオペラは、「ベルカントオペラ」と呼ばれています。ベルカントとは本来、美しい歌唱という意味の音楽用語ですが、ここでは歌手の技量に依存する割合が高いオペラ、即ち、装飾的で難しい独唱をこなすことができる歌手を最も重要な要素として位置付けるオペラを指しています。ヨーロッパを席卷した「ベルカントオペラ」の人気は、19 世紀半ば頃から徐々に衰退していきました。代わりに、歌手の装飾的的技巧から離れた、ドラマ性を追求した作品が好まれるようになります。ベッリーニは、歌手を一義的に扱う「ベルカントオペラ」から、歌手も作品の一部と見なす「劇重視オペラ」への過渡期に活躍した作曲家でした。「ベルカントオペラ」はベッリーニをもって終焉を告げる、という言葉の通り、ベッリーニの作品は、歌手に高度な技巧を求めます。しかし、ベッリーニの最高傑作と言われる「ノルマ」は、それだけに頼らず、劇にドラマティックな展開が見られるという点で、後に来る「劇重視オペラ」により近い作品構成となっているのです。

「ベルカントオペラ」は、「劇重視オペラ」の流行以降、忘れられた存在となりました。ベッリーニの「ノルマ」もまた然りです。しかし「ノルマ」に限っては、他の「ベルカントオペラ」とは少し事情が異なるように思われます。何故なら「ノルマ」は、当時の流行に十分に答え得るドラマ性を兼ね備えていたからです。決して需要が無くなったのではなく、「ベルカントオペラ」を歌いこなす高度な技巧を持った歌手がいなくなったことこそ、「ノルマ」が上演機会を失った最大の原因だったと考えられます。そうであるからこそ、多くの人々が「ノルマ」をオルゴールに記録し、その音楽に耳を傾けたのでしょう。「ベルカントオペラ」は、20 世紀の偉大なオペラ歌手マリア・カラスの登場により、再び輝きを取り戻します。特にカラスが熱を入れ得意としたオペラの 1 つが「ノルマ」で、リサイタルなどでもたびたび取り上げられたといえます。残念ながら、カラス亡き今「ノルマ」は再び上演が激減しており、その実演に触れる機会は多くありません。



ソプラノ；マリア＝カラス
 録音；1960 年 9 月
 指揮；トゥリオ・セラフィン
 ミラノスカラ座管弦楽団及び合唱団

前期の通常プログラム&イベントご案内

4月～6月 オルゴールから自動演奏楽器まで
毎週木曜～日曜（祝日） ①10:30 ②13:00 ③15:00
*但し20名以上の団体は火曜水曜も開館

春の庭園特別公開

4月26日(木)から6月3日(日)まで 毎週木曜～日曜・祝日

団体の方は事前予約で火曜、水曜もご入館頂けます。

オルゴールの演奏をお聴き頂いた方は新緑のもみじとつつじの庭園をゆっくりご散策下さい。(演奏前でもご散策頂けます)



当館には徳川氏（2代将軍秀忠）による大坂城再築時の採石場跡地に近代日本庭園の開祖である7代目小川治兵衛が作庭したと云われる庭園があります。小川治兵衛が好んだドウダンツツジやコバノミツバツツジなどツツジ科の花を楽しんで下さい。

庭園はオルゴール演奏の前後にご自由にご散策して頂けます。

特別出演 西宮「人形芝居えびす座」

平成版 えびすかき えびす舞 出演 武地秀実氏 松田恵司氏

4月29日(日) 5月6日(日) 13日(日) 20日(日)

各日 午後2時より 当館庭園にて(雨天時 ロビー)

オルゴール博物館ニュース



クイーン&プリンセスの証であるティアラを付けて来館されました。

3月21日にワシントン州日系クイーン&プリンセスのみなさんが来館されました。コンテストで選ばれた彼女達は兵庫県とワシントン州のかけ橋となる親善大使としてホームステイをしながら県内で交流活動を行いました。



最初は少し緊張していた様子でしたが、ロビーのオルガンに合わせてダンスをしたり、楽しんで下さいました。

4月6日 フィンランドよりサベルシルクト合唱団・ポリ・シュタイナースクール演劇班のみなさんが西宮少年合唱団の方と一緒に来館されました。4月7日に行われた「歌のかけ橋コンサート」では、日本の歌、さくらさくらを合唱されたそうです。